

WEEKLY SIGNAL

平成30年6月15日(金) 1428号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	6/18 (月)	6/19 (火)	6/20 (水)	6/21 (木)	6/22 (金)
無担保O/N	△0.086% ~ 0.001%				
銀行券	+ 200	△ 1,000	△ 1,000	△ 1,000	△ 2,000
財政他	+ 2,000	+ 3,000	+ 60,000	△ 2,000	△ 21,000
資金需給	+ 2,200	+ 2,000	+ 59,000	△ 3,000	△ 23,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M)		国庫短期証券発行・償還(1Y) 国債発行(30年) 国債償還(5年、10年)	交付税特会借入・償還	国債発行(5Y)
オペ期日	共通担保(全店) △ 2,400 CP等買入 △ 500		貸出増加支援 △ 49,400		
オペスタート	共通担保(全店) + 2,400				
(日本)	貿易統計(5月)		金融政策決定会合の議事要旨 (4月26日、27日分)	布野審議委員が講演・記者会見 (仙台市)	消費者物価指数(全国5月) 全産業活動指数(前月比)(4月)
(海外)	米 ジョン・ウィリアムズ氏、 NY連銀総裁に就任 米 ウィリアムズ氏新NY連銀総裁の講演 米 タトリー前NY連銀総裁が講演 米 アトランタ連銀総裁の講演 米 NAHB住宅市場指数(6月)	欧 ドラギ ECB総裁が講演 (ボルトガル・シントラ) 欧 セントルイス連銀総裁が パネル討論会に参加 (ボルトガル・シントラ)	欧 ドラギ ECB総裁、パウエルFRB議長、 パネル討論会に参加 (ボルトガル・シントラ)	米 新規失業保険申請件数 (16日終了週) 米 FHFA住宅価格指数(4月) 米 景気先行指標総合指数(5月) 欧 ユーロ圏財務相会合 (ユーログループ) 欧 ユーロ圏消費者信頼感指数 (6月、速報値)	欧 EU財務相理事会 欧 ユーロ圏総合PMI(6月、速報値)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.050 ~ 0.030
SPOT 2M	△0.030 ~ 0.030
SPOT 3M	△0.010 ~ 0.030
SPOT 6M	△0.010 ~ 0.120

<インターバンク>

日銀当座預金は週初、376兆300億円から始まった。その後は12日の短国買入、14日の国債買入、15日の年金定時払いを主因に387兆1,800億円まで増加した。
無担保コールON物の加重平均金利は週初△0.071%から始まった。13日以降、基礎残高・マクロ加算残高の調整を目的とした調達ニーズの高まりから、同金利は徐々に上昇し、5月積期最終日となる15日には△0.064%となった。
ターム物は1~2W物を中心に、主に△0.05%~△0.06%台での取引がみられた。
FRBは、12日~13日に開いたFOMCで、政策金利を0.25%引き上げ、年1.75~2.0%にすることを決めた。また、14日にはECB理事会が量的緩和を年内に終了する方針を決めた。
来週は国内では、金融政策決定会合の議事要旨(4月26、27日分)(20日)、海外ではジョン・ウィリアムズ氏のニューヨーク連銀総裁への就任(18日)、ドラギECB総裁の講演(19日)などが予定されている。

【オープン市場】

CP3M(a-1+)	△0.010 ~ 0.000
TDB 3M	△0.150 ~ △0.100
現先(on/1w)	△0.050 ~ 0.000

<C P>

今週の入札発行総額は約7,500億円で、週間償還総額(約7,300億円)の発行から若干増加した。連日、大型案件があったものの案件数は少なく、落ち着いた商状となった。週末の発行市場残高は、17兆4,900億円弱と前週末(約17兆4,150億円)より増加。発行レートは、一部の希少銘柄についてはやや強めの札が見られたが、概ねマイナス~0%近辺の出会いとなった。12日にオファーされたCP等買入オペ(2,500億円)は、CP買入れオペは、四半期末の償還が多いことから、ディーラーの入札姿勢は消極的となり応札額は減少、按分レートは前回比△0.002%低下の△0.007%となった。来週の償還総額は、約7,600億円となっている。五・十日発行が予定されるため、案件増加し発行超が予想される。発行レートは、ディーラーや投資家の運用ニーズが強く、変わらずマイナス~0%近辺の出会いであろう。

<TDB>

14日に行われた3M764回債は最高落札レート△0.1209%(前回債△0.1243%)、平均落札レート△0.1257%(同△0.1295%)と前回債からマイナス幅を小幅縮小した。
週末のセカンダリー市場は、新発3Mがほぼ入札と同水準の△0.122%の出合。大きな動きは見られなかった。
来週は19日に1Y、22日に3Mの入札が予定されている。

<レポ>

銘柄先決めGCは、週初から週央にかけて△0.08%~△0.09%台で推移した。15日受渡しでは△0.11%近辺まで低下。週末は短国3Mの発行日であったが、レートの上昇は見られず、△0.105%~△0.11%が出合いの中心となった。
SC取引では5年135回債のbidが多く、週前半は△0.30%台後半~△0.40%台前半の出合い。14日の国債買入れオペ後は△0.50%台半ば~後半で一部取引された。その他2年386・387・388・389回債、5年133・134回債、10年338・339・340・341・342・343・344・345・346・347・348・349・350回債、20年162・163・164回債、30年57・58回債、40年10・11回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。